

緊急学習会『福島第一原子力発電所汚染水処理問題収束のために地質学は何をなさねばならないか』のお知らせ

日本地質学会関東支部は多数の地質関連業務従事者によって構成されていることもあり、現場で抱える課題や環境問題にも積極的に取り組むようささやかながら努力してきました。今日、福島第一原子力発電所の汚染水処理をめぐる問題がいつそう深刻になっていますので、まずはこの問題の現状を正確に理解し、地質学が貢献すべき課題について考えなければならないと思います。そこで、以下の緊急学習会を開催することになりました。なお、稔りある学習会とするために、受講される方は末尾に示されている事前学習資料等についてあらかじめ目を通していただくとともに、重要部分を各自プリントアウトして持参されるようお願いいたします。

主催：日本地質学会関東支部

日時：5月17日(土)午後1時～5時

会場：日本大学文理学部3号館3505教室

京王線桜上水駅または下高井戸駅から徒歩8分

(<http://www.chs.nihon-u.ac.jp/access/>)

【学習会の内容】

報告1：産業技術総合研究所活断層・火山研究部門 総括研究主幹 山元孝広さん

「福島第1原発サイトならびに周辺の地質概説」

報告2：産業技術総合研究所地下水研究グループ長 丸井敦尚さん(『経済産業省汚染水処理対策委員会』委員)

「福島第一原子力発電所汚染水処理の現状と対策」

報告3：福島大学共生システム理工学類教授 柴崎直明さん(『福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会』専門委員)

「福島第一原子力発電所汚染水問題に関する地質学の課題」

特別報告：東京農工大学教授 楊 宗興さん(日本陸水学会幹事長)

「日本陸水学会意見書の解説と同学会の取り組み」

- ・受講者はCPD単位(4.0単位)の取得が可能です。
- ・受講費：資料代として1,500円(学生・大学院生は500円)を頂きます。
- ・懇親会：学習会のあと懇親会を行います(会費3,000円。学割有)。
- ・申込み方法：日本地質学会関東支部(kanto@geosociety.jp)宛で件名(Subject)に『5.17 緊急学習会』と明記の上、氏名、所属、連絡方法を書いてお申し込みください。懇親会参加希望者はその旨お書きください。締切は5月14日(水)としますが、準備の都合上、9日(金)までにお申し込みいただけると助かります。

・学習会についての追加情報は日本地質学会サイト

<http://kanto.geosociety.jp/>

内の「関東支部」に掲載されますので、各自、ご確認ください。

・問合せ先：日本地質学会関東支部 幹事長 笠間友博

神奈川県立生命の星・地球博物館気付 電話 0465-21-1515

E メールアドレス: kasama@nh.kanagawa-museum.jp

【事前学習資料など】

1. 必読資料

◎経済産業省第 11 回汚染水処理対策委員会(2013 年 12 月 10 日)資料

東京電力(株)福島第一原発における予防的・重層的な汚染水処理対策(概要)

http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/131210/131210_01c.pdf

東京電力(株)福島第一原子力発電所における予防的・重層的な汚染水処理対策

http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/131210/131210_01d.pdf

2. 参考資料

◎経済産業省「福島第一原子力発電所における汚染水対策」

<http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/osensuitaisaku.html>

◎福島県「廃炉安全監視協議会の開催結果」ホームページ

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16025c/genan177.html>

◎日本陸水学会

福島第一原発における凍土遮水壁設置にかかわる意見書

<http://www.jslim.jp/>

地下水流入抑制にかかわる導水路の設置

http://www.jslim.jp/PDF2013/teiansho_osensui_2013_2.pdf

◎岩波書店『世界』2014 年臨時増刊

“イチエフ・クライシス”中の「Ⅰ. イチエフはいまどうなっているのか、汚染水問題の現状は」